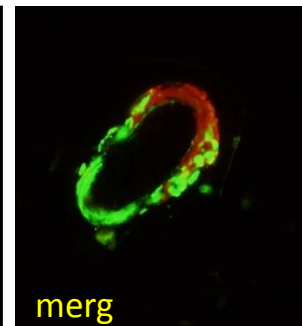
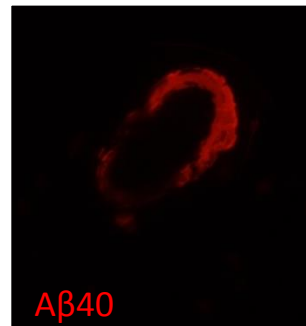
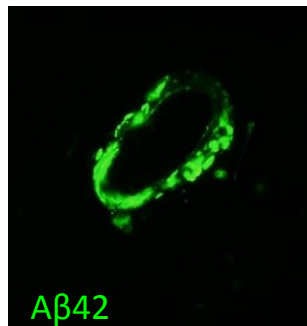
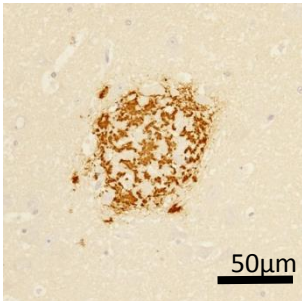
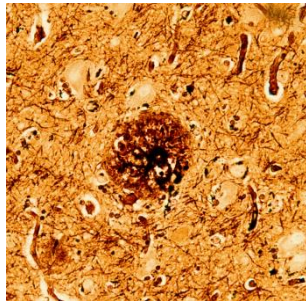
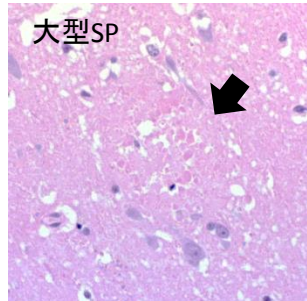
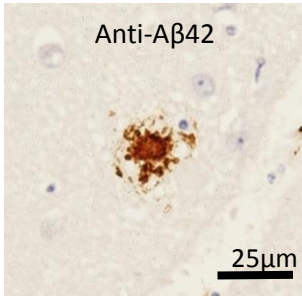
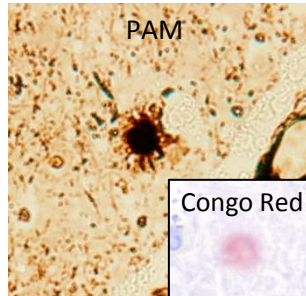
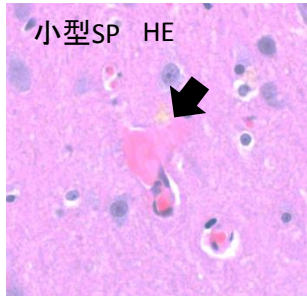


老齡カリフォルニアアシカ の脳における β アミロイド沈着



【はじめに】動物の脳 β 沈着はヒトと比べて発生率が低い。国内最高齢とされる貴重なアシカの脳を検索し、海棲哺乳類で初めて老人斑(SP)と脳血管アミロイド(CAA)を確認したので報告する。



【症例】カリフォルニアアシカ (*Zalophus californianus californianus*)、雌、29歳11ヶ月(寿命:25歳)

【結果】高齡のアシカの脳には2つの形態(小型と大型)を示すSPが観察された。後者はCotton wool plaqueに類似していた。

CAAも確認されたが、1つの血管に β 42と40が分節状に沈着するという現象がみられた。

なお、このアシカには高リン酸化タウの蓄積はなく、ヒトのように認知障害や大脳萎縮もなかった。

上段: 小型SPのHE染色、PAM染色、 β 42抗体用いた免疫染色(挿入はコンゴレッド染色陽性)

中段: 大型SPの同様の染色。コンゴレッド染色陰性で、中心部にコアは認めない微細顆粒状沈着の集合体。

下段: CAAの免疫染色。左は β 42、中央は β 40、右は合成。

【結論】海棲哺乳類初の老人斑と脳血管アミロイド症の報告

高橋映里佳¹⁾、栗林大幸¹⁾、チェンバーズジェームズ²⁾、今村英美³⁾、宇根有美¹⁾

1)麻布大学獣医学部病理学研究室、2)東京大学農学生命科学研究科獣医病理学研究室、3)京急油壺マリンパーク水族館